

議会広報モニター意見の要旨（第148号）

（ ）内は人数・・・1人が複数意見の場合あり

1 一番気になった（良い、悪いなど）記事

※編集改善に関する意見のみ記載し、議会や町政に対する意見は「6 その他気づいたこと」の（編集とは直接関係しないが貴重な意見）に記載しました。

P 4 決算（昨年はどうな事業をしとったかいな～）……………（1）

P 5 補正予算・その他の議案……………（1）

おせっかい奨学金基金条例で賛否……………（2）

P16～17 議会報告会における住民要望の回答……………（1）

2 その理由

P4

・1年前を振り返ることができて、とてもいい。

P5

・よくまとめられ、概要がわかりやすい。詳しくは→の説明も、よくまとめられ、わかりやすい。

・反対討論で、掲載されていない「その他5つの理由」が聞きたかった。……（2）

P16～17

・報告、要望も、それについての回答も簡潔にまとめられていてわかりやすい。今までのページ作りと違ってきて、いいと思った。

3 全体の構成（見やすさ、記事量など）

1) 良い……………（9）

・文字が大きく、間隔も取ってあるので読みやすい。

・毎号、構成・記事ともわかりやすくまとめられている。

・一般質問で、問は灰色で囲ってあり、答との違いがよくわかる。

・レイアウトも文字の大きさもよい。

・見やすく説明されていた。

・全体的に、写真やグラフがあって見やすい。太文字にして見やすくしているのもいい。

・枠が使われ、伝えたいことがはっきりしている。写真も使われていて見やすい。

・どのページも丁寧でわかりやすい。

・コメントなし……（2）

2) 普通……………（4）

・質問にタイトルがあるのでとても見やすい。

・コメントなし……（3）

3) 悪い……………（0）

未回答……………（1）

4 意味のわからないことばなど

P3 付帯意見

- ・言葉の意味がわからなかったが、P4に説明があり理解することができた。

P7 SDGs …… (3)

- ・具体的な意味がわからない。
- ・もう少し詳しく説明してもらえたらいいと思う。
- ・説明が横にあったので、理解することができた。

5 改善したらよいと思うこと

- ・議員の立ち位置を確認するためにも、議案に対する賛否を一覧表等にして、紙面においても明らかにすべきだと考える。
- ・モニターアンケートが書きづらいため、議会だよりは読んでいても、アンケートになかなか向かえない。
- ・昔の写真では無理かもしれないが、「広報ちづ」の表紙のように、最近の写真やカラー写真にすれば、目に入りやすくいいのではないかと思う。
- ・請願書、陳情書の詳細がわかりにくい。公文書として、情報公開の取扱になると思うが、広報紙には概要や要約のみを掲載するとして、ホームページで公開するなど、紙面とクロスすることはできないか。

(わかりにくかった例)

議会だより146号5ページの「牛臥山山系会下谷堰堤内堆積土の土砂撤去」と、今号6ページ「会下谷(牛臥山)の崩落箇所修復」は、別の箇所のものか。

→いずれも平成30年7月豪雨災害に起因するものですが、146号に掲載の陳情は、会下谷の砂防ダム内に堆積した土砂の撤去を求めるもので、148号に掲載の陳情は、会下谷に複数の崩落箇所が見られ、その修復を求めるものです。

6 その他気づいたこと

- ・表紙の写真に説明があり、昔のことを詳しく知るきっかけになってよかった。

(編集とは直接関係しないが貴重な意見)

P3 (監査意見「受益者負担の適正化を図る」)

- ・今、智頭町で受益者負担としている特異な例も挙げながら、住民に投げかけてサービスに何らかの負担を考える時がきたように思う。

例えば、私は図書館で毎月10冊程度の書籍を借りるが、まだ誰も読んだ形跡のない書籍にあたると、全てが町の税金でなくとも、大変ありがたい気持ちになる。そこで、図書貸し出しカードを有料にするなど、それぞれの分野で受益者負担を本気で考える時だと痛感した。

P5 (上段、福祉課の時間外手当)

- ・実績に伴い算出したとあるが、根本への介入ができているのか。
→人が不足しているのか。慢性の業務内容なのか。
→しっかり精査した上で予算付けをされているか。

P5（おせっかい基金条例）

- ・大変いい奨学金基金だと思うが、反対意見もわからなくもない。
- ・町外に居住を移し進学した子を持つ親として、関心がある。
- ・この問題点はとてもいいことだと思う。帰ってきてくれて、すぐに県外に出るケースも多々あることだと思われるため、もう少しよく検討する必要があるように思った。

P7（育みの郷構想の事業達成度）

- ・中原集落の拠点施設がどうなったのか知りたい。

P8（無線操縦草刈り機の導入を）

- ・少子高齢化における農林業の将来を考えると、合理化による生産性向上は必須である。無線操縦草刈り機の導入もその一環であり、よい提案だと考える。ただ、機械を導入するだけでなく、より合理化効果を高めるためには、他の農林業の合理化施策と合わせて推進する必要がある、難しい課題である。町長の、このための推進の意気込みに期待したい。

P8（智頭・津山間の利用促進）

- ・今回の議会日よりでは、この問題点が特に気になった。実現に向けて少しずつでも進んでいけばと思う。

P10（智頭町わが町支え愛活動）

- ・酒本議員の質問に対する答弁によると、「支え愛マップは地域の福祉課題を話し合う事業」とのことだが、支え愛マップを使って防災訓練を行うのが本来の目的ではないか。また、智頭町内の自主防災組織数は、平成30年4月で88組織、組織率83.6%とのことだが、支え愛マップが話し合うだけの事業となり、制作したマップが公民館に飾られるだけのものとなれば、町内の自主防災組織は形骸化されてしまうだけではないか。

P12（産後ケア助成金）

- ・助成金の内容まで知りたい。インターネットにもほとんど情報がない。

P13（海士町との友好都市）

- ・生徒数、子どもの数が減ってきている中で、町唯一の高等学校の今後について気になった。島根県との交流に興味があった。

P13（ちづ保育園前に横断歩道を設置しては）

- ・横断歩道のない道路を園児が渡っているのを見て、ひとつのクラスにつける先生は限られているため大勢で渡るときは危ないと思っていたので、早くできたらいいと思う。

P15（教育長の答弁「小学校のプールを解放できる方策を…」

- ・智頭小学校はわかるが、那岐などにあるプールは使用できないか。プールとして使用できないのであれば、外部管理で“釣り堀”や“養殖”などに使えないか。

- ・議会報告会への住民の参加者が大変少なく、会合になっていないと思われるため、廃止して、別にテーマを設けたアンケートをするなど、変更されてはと思う。
- ・⑦熊本地震では、避難所に指定されていなかった施設にも多くの方が避難した等の事例があるが、そういった姿勢が今は見られないことがよくわかり、自主防災組織が作成する地区防災計画には内容を盛り込みやすくなったと思うが、指定避難所または自治避難所以外は、災害時のどんな状況においても使用禁止かと思えてしまう。
- ・⑪⑫ 11月28日に行われた第2期総合戦略策定ワークショップの参加者より、JRと智頭急行の智頭駅を一体化した駅舎にし、郡家駅のようなコミュニティ施設と共同した駅舎にできないかといった意見があったが、町の駅前整備構想に公共交通（因美線）は含まれていないのではないかと思った。
- ・⑬要望者の利用用途がわかりにくいため暫定的だが、現在告知端末で流されている情報をタブレット等に再送すれば、MVNO（いわゆる格安SIM）で月額1000円以下にすることも可能ではないか。現在の電話型端末の継続を前提にした回答で、読者には町が特定端末のみでの送信を今後も希望していると伝わるのでは。

その他

- ・今後とも、現場主義と情報公開に努めてもらいたい。
- ・大河原議長、中野副議長の若い新体制での議会に期待したい。
- ・新体制議会に期待している。
- ・9名の一般質問は、全てとてもよかった。実現すれば大変すばらしい町になると思えた。
- ・最近、大災害が日本全国で起こっている。わが町でもいつ起こるか誰にもわからないが、皆でよい方法を考えることが必要だと思った。